

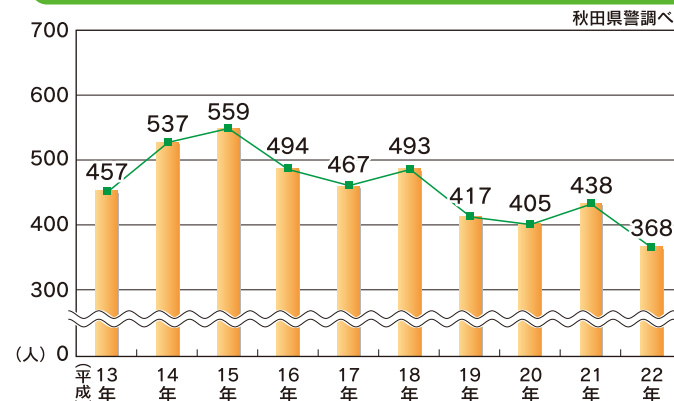
秋田ふきのとう 県民運動大会 大会宣言



【マークについて】

AKITAのAの中に、シンボルマークのふきのとうを入れ、秋田県全体でこの運動に取り組んでいる姿勢を表現しました。

平成13年以降の自殺者数（過去10年間）



ゆとりと優しさのある秋田を目指して……

自殺対策基本法が平成18年に施行されてから、4年が経過しようとしています。それまで、自殺は個人の問題であり、他人がとやかく干渉すべきではないという風潮がありました。しかし、自殺の背景には失業や多重債務等の経済・生活問題、病気の悩みなどの健康問題、介護等の家庭問題など様々な問題があり、基本法には自殺対策は社会的な取組として実施しなければならないこと、関係する者の相互の密接な連携の下に実施されなければならないことと明記しております。

秋田県ではここ十数年全国でも自殺率が高い状況にありますが、昭和30年頃は全国と比較するとむしろ低い状態でありました。必

ずしも経済的には豊かではなかったと思いますが、そこには確かな地域の絆があったと感じます。地域のつながりの希薄化に加え、昨今の厳しい経済雇用情勢により、心のゆとりがなくなり自殺者の増加が懸念されております。

秋田ふきのとう県民運動は、県民、自殺予防に関わる民間団体、医療・福祉・教育・法曹・大学・行政等の関係者が、自分たちのできることから具体的に行動を起こし、地域の絆と適切なアドバイスやサポートにより、安心して生活できる地域づくりを目指し、次のことを実行していきます。

1 県民の自殺に対する理解を深め、県民一人ひとりが自殺予防に関して、それぞれの立場で行動できる環境づくりを推進します。

2 県民一人ひとりの行動により、誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができる地域づくりを推進します。

3 県民、参加機関・団体等の関係者が連携して、地域に根ざしたきめ細かい支援のネットワークづくりを推進します。

4 毎年3月1日を「秋田県いのちの日」と定め、秋田ふきのとう県民運動キャンペーンを展開します。

県民の誰もが、秋田に生まれ、秋田に住んでよかったと思えるよう、この大会に集う一人ひとりが、今ここから行動していくことを宣言します。

平成22年9月18日